

「核兵器のない世界」へ—いま行動のとき

あなたの署名をニューヨークへ

いまも大量の核兵器が！

世界にはいまも2万発をこえる核兵器が貯蔵・配備されています。

アメリカとロシアは、年内に新たな戦略核削減条約を結ぶことに合意しています。核兵器を大幅に削減することは大歓迎です。しかし核兵器はたった1発でも使われればその被害は計り知れません。核兵器は減らすだけではなく、なくすべきです。

この秋、国連総会第1委員会が核軍縮問題の討論が行われ、何本もの決議が採択されました。マレーシアなどが核兵器禁止条約の交渉開始を呼びかけた決議を提案しましたが、結果は、中国やインド、パキスタンなどが賛成し、アメリカ、イギリス、フランス、ロシアなどは反対しました。採択に当たって日本政府はこれまでと同様に、交渉開始を「時期尚早」とする態度表明をおこない棄権しました。

不拡散から全面禁止へ転換を

核保有国が、他の国の核は脅威としながら、みずからの核は「安全の保証」などと言っている限り、核兵器の拡散の危険もなくなりません。

オバマ大統領は「核兵器のない世界を追求する」と宣言し、日本の鳩山首相もその努力の「先頭に立つ」と約束しました。国連の安全保障理事会は「核兵器のない世界のための条件を創る」ことを決議しました。

来年5月、ニューヨークの国連本部に世界の国々から政府の代表が集まり、核兵器の問題を話しあう5年に一度の会議、核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれます。「核兵器のない世界」へ、具体的な一歩を踏み出させるために、世界中で行動がひろがっています。

あなたの核兵器廃絶の願いを、「核兵器のない世界を」の署名に託してください。すべての署名はニューヨークに運ばれ、世界各地からの署名とともに、NPT再検討会議に提出されます。



原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
TEL.03-5842-6031 FAX.03-5842-6033
<http://www.antiatom.org/>